

科目名	インターンシップ1							年度	2026
英語科目名	Internship 1							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 1年次	必/選	必※	時間数	90	単位数	3	種別※	実習
担当教員	石川和希	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツメーカー		
【科目の目的】 今後の就職活動を見据え、外部などの研修に参加することにより、業界の動向や基礎知識の理解を深めます。									
【科目の概要】 外部などの研修に参加することにより、業界の動向や基礎知識の理解を深めます。									
【到達目標】 外部（スポーツ・健康業界）の研修やセミナーに参加します。志望する企業や業界に必要な情報を積極的に入手します。人との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学びます。 A. 業界内の動向を理解し、スポーツ業界で働く人材として求められる役割と能力についてしっかりと知識を身につけている。 B. 社会人として必要な能力を各種研修を通じて身につけ、主体性をもって行動できるようになっている									
【授業の注意点】 既定時間数の研修・セミナーに参加していない者は単位を取得できません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	業界内の動向を理解し、スポーツ業界で働く人材として求められる役割と能力についてしっかりと知識を身につけている		業界内の動向を理解し、スポーツ業界で働く人材として求められる役割と能力についてある程度の知識を身につけている		業界内の動向を理解し、インストラクターとして求められる役割と能力についての知識を少し身につけている				
到達目標 B	社会人として必要な能力を各種研修を通じて身につけ、主体性をもって行動できるようになっている		社会人として必要な能力を各種研修を通じて身につけ、主体性をもって行動しようと試みている		社会人として必要な能力を各種研修を通じて身につけ、指示があれば行動できるようになっている				
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップ1			年度	2026			
英語表記		Internship 1			学期	前期			
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価			
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 授業内容の説明	業界内における就職活動のトレンドを把握し、スポーツ業界に求められる役割と能力について理解する	2				
			2 業界内の動向						
2	学内研修	学内での事前研修	1 社会人基礎力を意識した主体的取り組みの方法	スポーツビジネスに必須の能力を高めるためのグループワークを中心とした各種研修を学内で事前研修します。事前に体験し、求められるスキルを知ること、本番での振る舞いや対策等を考えることが出来る下地を身につけます。	2				
3					2				
4					2				
5	学内外研修	学内外での研修	1 学内研修	企業内で研修講師を務める指導者を招き、スポーツ業界で働く人材として必要な能力を高めます	2				
6					2				
7					2				
8			1 学外研修		スポーツ関連企業の採用担当者の下で実施される採用研修を受けることで、スポーツ業界で働く人材として必要な能力を高めます	2			
9						2			
10						2			
11						2			
12						2			
13						1 研修の振り返りと改善策の選定	これまでの各種研修を通して見つけた自身の課題に向き合い、今後に向けた改善策を選定することで、更なる能力の向上を目指します	2	
14								2	
8	まとめ	研修体験談の共有	1 研修体験談の共有	これまでの各種研修の体験談を仲間と共有することで、研修の効果を更に高めます	2				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等